



IMV CORPORATION

2020年9月期 決算説明会資料

2020年11月

本日のアジェンダ

Agenda

1. 会社概要

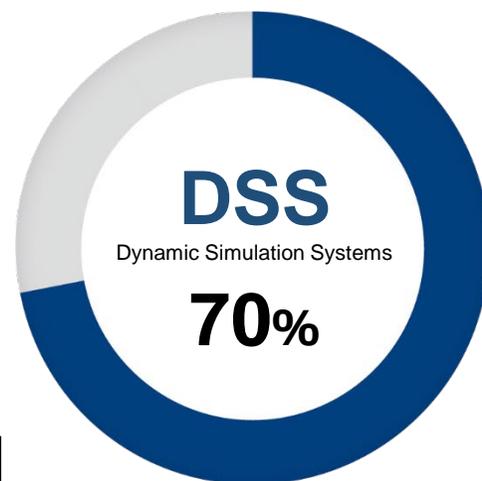
2. 2020年9月期決算サマリー

3. 今後の取り組み

事業セグメント | 売上構成比

Business Segment

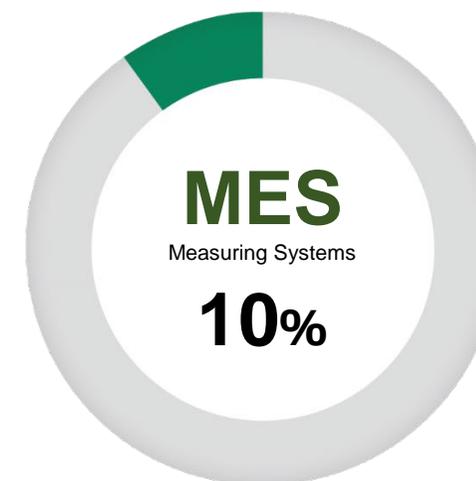
振動試験装置



テスト&ソリューションサービス



メジャリングシステム



113億3,817万円
(2020年9月期 連結)



会社概要

Company Profile

商号	》》	IMV株式会社 [英文社名] IMV CORPORATION
会社設立	》》	1957年（昭和32年）4月17日
資本金	》》	4億6481万円
従業員数	》》	400名（2020年9月30日現在 連結）
年間売上高	》》	113億3,817万円（2020年9月期 連結）
上場証券取引所	》》	東京証券取引所JASDAQ市場
証券コード	》》	7760
決算期	》》	9月30日

国内拠点

Domestic bases

Osaka | 大阪



- ▶ 本社
- ▶ 大阪営業所
- ▶ 大阪テストラボ
- ▶ 大阪エンジニアリングサービス部

Uenohara | 上野原



- ▶ 上野原サイト
高度試験センター

Tokyo | 東京



- ▶ 東京営業所
- ▶ 東京エンジニアリングサービス部

Sagamihara | 相模原



- ▶ MESエンジニアリングサービス部
- ▶ 東京テストラボ

Nagoya | 名古屋



- ▶ 名古屋営業所
- ▶ 名古屋テストラボ
- ▶ 名古屋エンジニアリングサービス部

Kasugai | 春日井



- ▶ 春日井テストラボ

Iruma | 入間



- ▶ 日本高度信頼性評価試験センター

国内子会社

- » (株)振研
八王子市
- » 日東精機(株)
大阪市西淀川区
- » データ・テクノ(株)
京都市下京区

海外拠点

Overseas bases

Germany | ドイツ



▶ IMV EUROPE LIMITED
German Sales Office

China | 中国



▶ IMV CORPORATION
Shanghai Representative
Office

Vietnam | ベトナム



▶ IMV TECHNO VIETNAM
CO., LTD

U.S.A. | アメリカ



▶ IMV America, Inc.

France | フランス



▶ IMV France

U.K. | イギリス



▶ IMV EUROPE LIMITED



▶ IMV EUROPE LIMITED
European Manufacturing Centre



▶ 1g dynamics

Thailand | タイ



▶ IMV (THAILAND) CO., LTD

DSS 製品ラインアップ

振動試験装置

従来機より性能が向上したAシリーズはこれまで不可能だった試験を可能にします。



低騒音小型振動試験装置

小型・低騒音でありながら本格的な試験にも対応可能です。



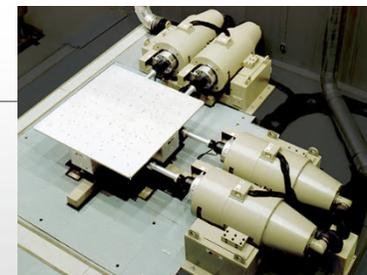
温湿度環境振動試験装置

振動試験装置とともに恒温恒湿槽も自社設計しています。



6自由度振動試験装置

現実にかかる振動環境の正確な再現が可能です。



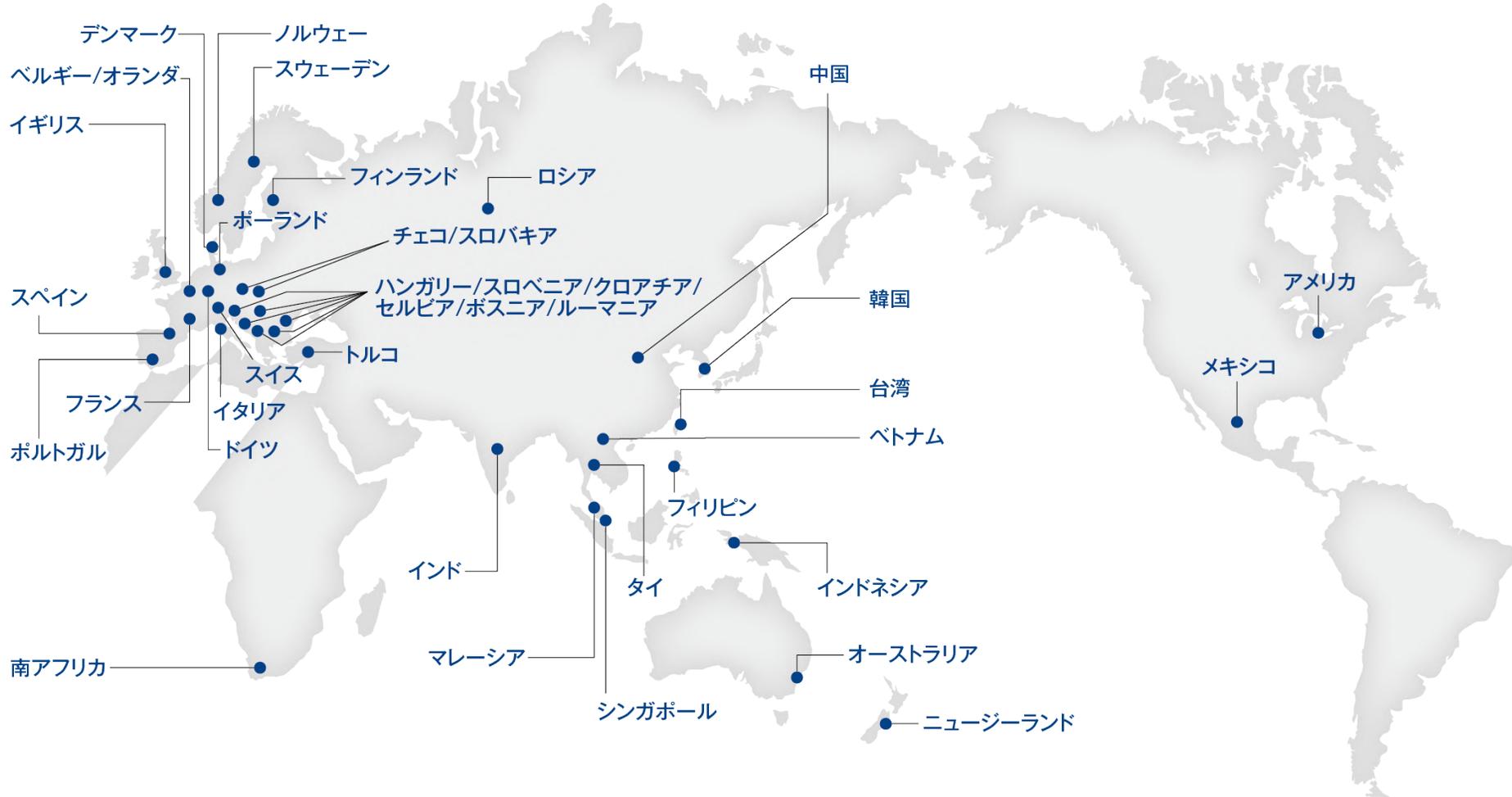
振動試験トータルシュミレーション

振動試験中の供試品の挙動を詳細に予測するシステムを導入し「計測」「シミュレーション」「治具製作」とすべてを内包した高付加価値なサービスを提供します。

AKE社小型振動試験装置

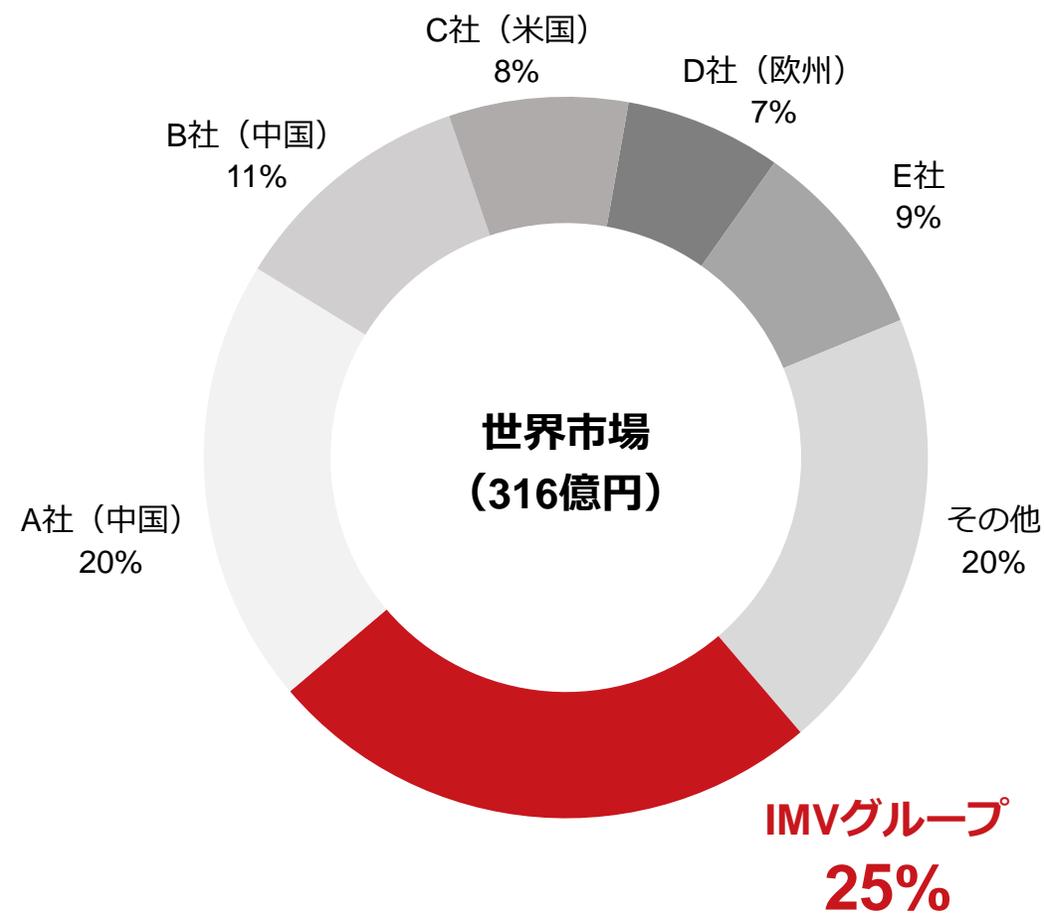
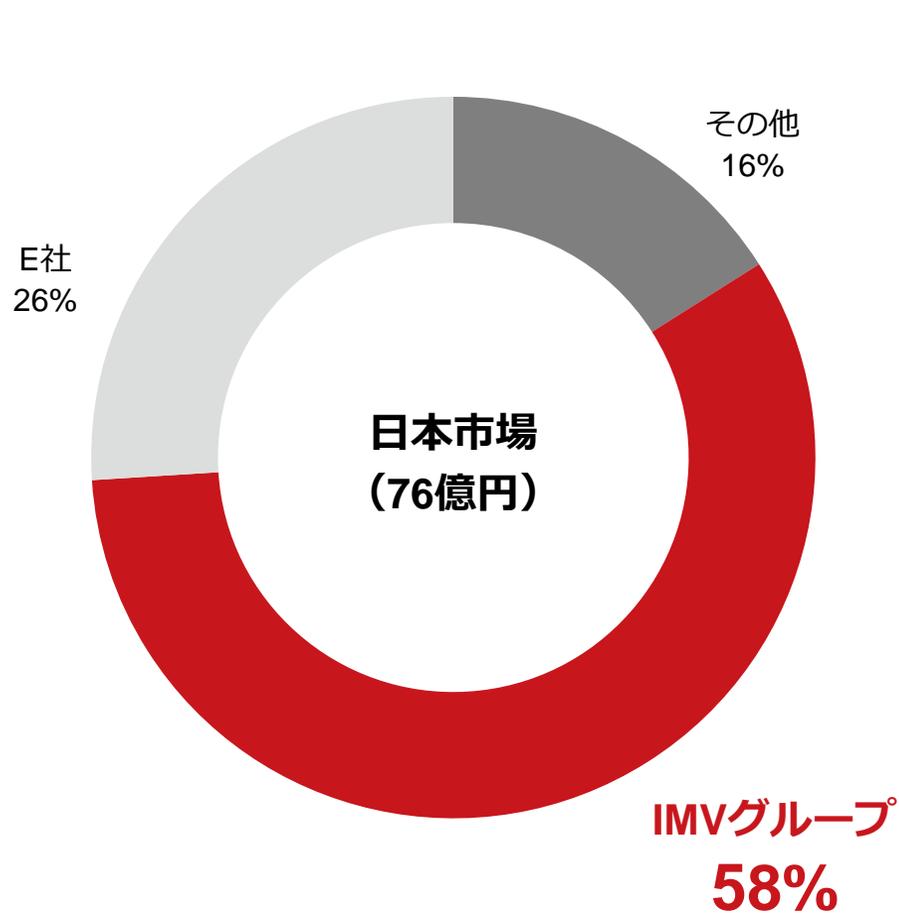
「小型なのに大加振力」な振動試験装置を製作・販売するドイツAKE社製品を日本国内で販売開始し、自動車業界への拡販を目指します。

DSS セールス&サービスネットワーク



DSS 販売シェア状況（当社独自調査を含む）

Sales Share of DSS



IMVテストラボの事業紹介

大阪テストラボ



大阪市西淀川区竹島2-6-10
開設: 2005年

- 振動試験
- 電池試験

名古屋テストラボ



愛知県みよし市根浦町5-2-18
開設: 2007年

- 振動試験
- EMC試験
- 電池試験

東京テストラボ



神奈川県相模原市緑区日連870
開設: 1988年

- 振動試験

Thailand



IMV(THAILAND)CO., LTD
アマタナコン工業団地
開設: 2011年

- 振動試験
- 環境試験

上野原サイト高度試験センター



山梨県上野原市ハツ沢2193-28
開設: 2015年

- 振動試験
- 電池試験

日本高度信頼性評価試験センター



埼玉県入間市宮寺4102番142
開設: 2018年

- 振動試験
- EMC試験
- 環境試験

春日井テストラボ



愛知県春日井市上条町3-24-5
開設: 2019年

- 振動試験

Vietnam



IMV TECHNO VIETNAM CO., LTD
タンロン工業団地
開設: 2018年

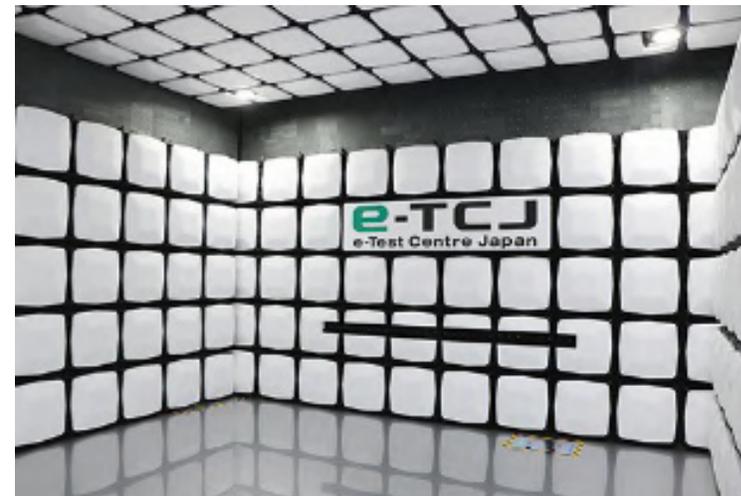
- 振動試験
- 環境試験

TSS e-TCJにおけるEMC試験

電気・電子製品から放出される電磁波を測定し、規格で決められた範囲内に収まっているかを評価するエミッション（EMI）測定と、電磁波による誤動作の起こりやすさを評価するイミュニティ（EMS）試験の2つで構成されたEMC試験が可能。

- ≫ キャリア20年以上のスタッフが在籍（i NARTEエンジニア/i NARTEデザインエンジニア）
- ≫ 電波暗室（2室）・シールドルーム（2室）を完備
- ≫ e-TCJ ネットワークにより包括した試験が可能

試験名		対応規格
エ ミ シ ヨ ン 試 験	放射エミッション	CISPR25 / 車両メーカー規格
	伝導エミッション(電流)	
	伝導エミッション(電圧)	
	磁界エミッション	MIL STD461 RE101 / 車両メーカー規格
イ ミュ ニ ティ 試 験	ALSE	ISO11452-2 / 車両メーカー規格
	TEM セル	ISO11452-3 / 車両メーカー規格
	BCI	ISO11452-4 / 車両メーカー規格
	ストリップライン	ISO11452-5 / 車両メーカー規格
	磁界イミュニティ	ISO11452-8 / 車両メーカー規格
	アンテナ近接	ISO11452-9 / 車両メーカー規格
	ESD	ISO10605 / 車両メーカー規格



電波暗室

TSS スクイーク&ラトル試験

振動により製品から発生する騒音（スクイーク音：きしみ音／ラトル音：カタカタ音など）を測定し、騒音レベルを確認する試験。

- ≫ 暗騒音17dB程度（NC-20以下）の静音室完備
- ≫ NR35等各社基準での測定実施可能
- ≫ 音解析ソフト・音源可視化カメラ等充実の設備



スクイーク&ラトルルーム

MES 製品ラインアップ

振動計測装置

床振動から機械装置の回転振動まで、あらゆる振動を計測します。



WiFiポータブル振動計

振動監視装置

発電所やポンプなどの機械振動を常時監視し、予防保全に活躍します。



接触式振動監視装置

地震監視装置

地震を常時監視し、発生時には設備を緊急遮断することにより二次災害の防止に貢献します。



地震監視装置

超小型ピックアップ

安価なMEMS素子でも10kHzまで正確に測れる超小型ピックアップをはじめ、多様なラインナップを取り揃えています。



超小型ピックアップ

構造ヘルスマニタリングシステム

ビルや橋梁といった建造物の多点に設置し、地震時および定期的に加速度波形を収集し速報や健全性を評価します。



ワイヤレスタイプ長周期モニタリングシステム

IoT関連製品

機械の状態監視と地震時の緊急対応両方でIoTでの活用を想定した製品を取り揃えております。



ラムダパイプロ

MES 防災ビジネス活動

地震計技術の世界展開

MES事業部門では、JBP（日本防災プラットフォーム）を通じて、防災分野における海外への協力を進めています。IMVの長年培った地震計の技術を世界に展開するとともに、防災に関する知見や課題の共有を行いながら、今後に向けての取組を行っています。



地震監視装置
TM-0013-SW & SW-52ST



日本防災プラットフォーム HPより（2019年3月26日）
<https://www.bosai-jp.org/ja/news/detail/185>

本日のアジェンダ

Agenda

1. 会社概要

2. 2020年9月期決算サマリー

3. 今後の取り組み

キーメッセージ

Key Message

20/9期業績・21/9期業績目標（連結）

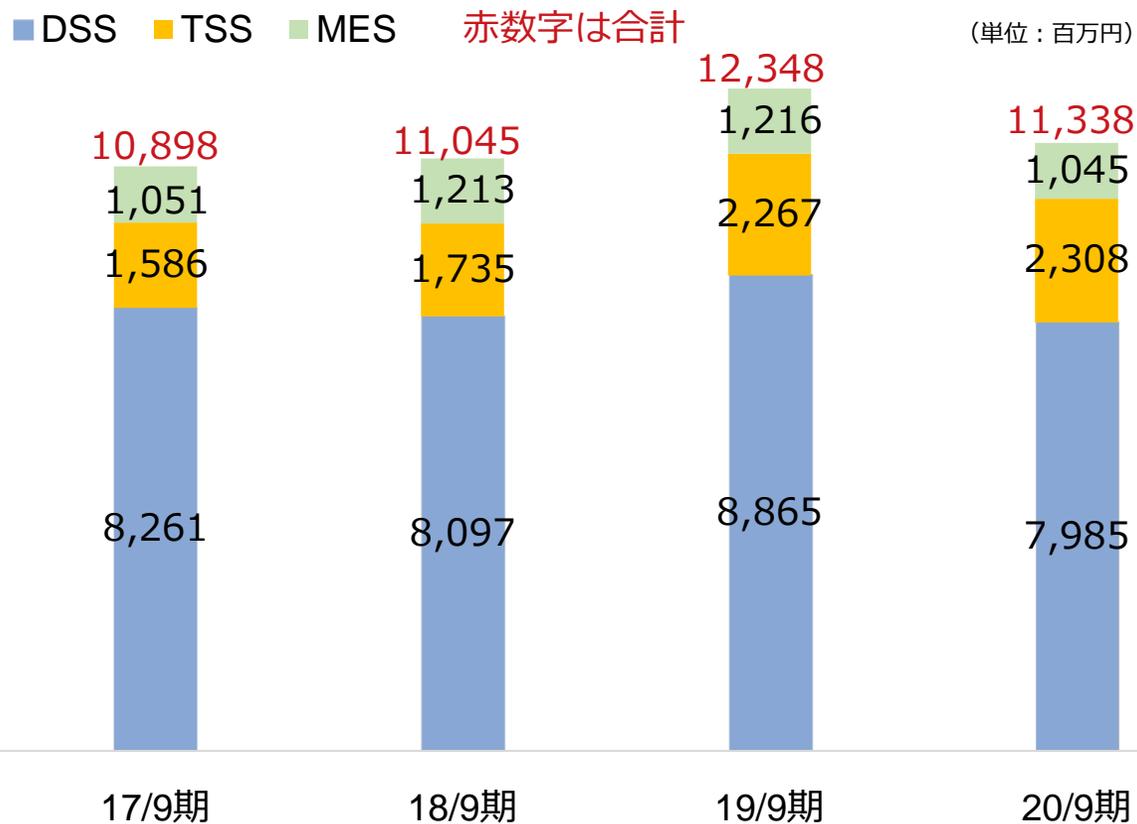
- ≫ 売上高 : COVID-19の影響等により、**113.3億円**（前期比10.0億円減）
- ≫ 経常利益 : **4.6億円**（前期比1.8億円減）
- ≫ 21/9期業績目標 : 売上高 **123.0億円**（当期比9.6億円増）
経常利益 **10.0億円**（当期比5.3億円増）

グループ運営方針

単なるモノ売りビジネスからの脱却

～「シミュレーション」「クラウド」「サブスクリプション」をキーワードに、
お客様の潜在的なリクエストや不満に対応

事業別 売上高推移



DSS

COVID-19により営業活動に制約が生じました。
大型案件は次期に繰り越しております。

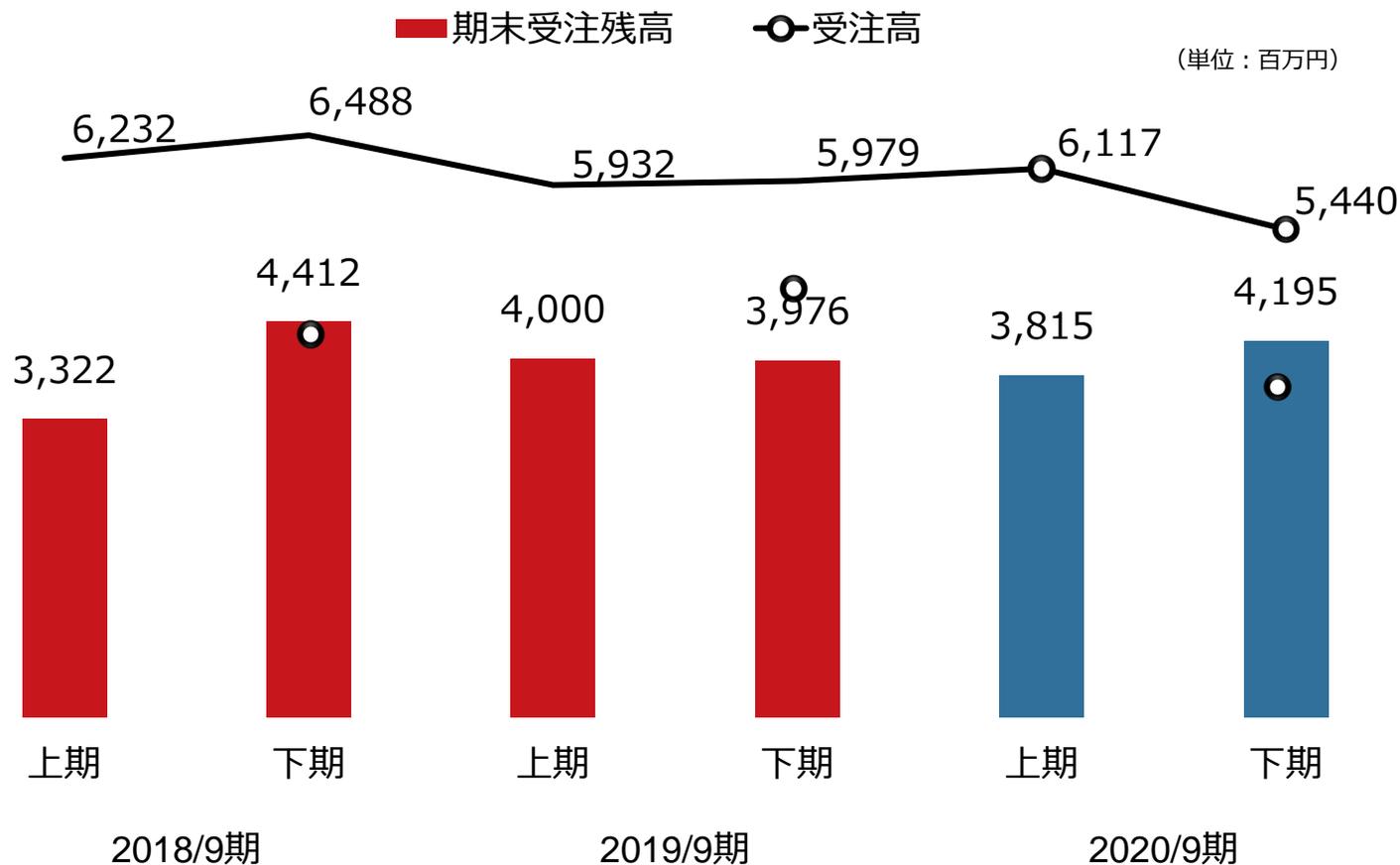
TSS

国内外とも自動車及び自動車部品メーカーを中心に受託試験が堅調に推移しました。

MES

海外ロックダウンの影響により、地震計輸出が伸び悩みました。

受注の状況

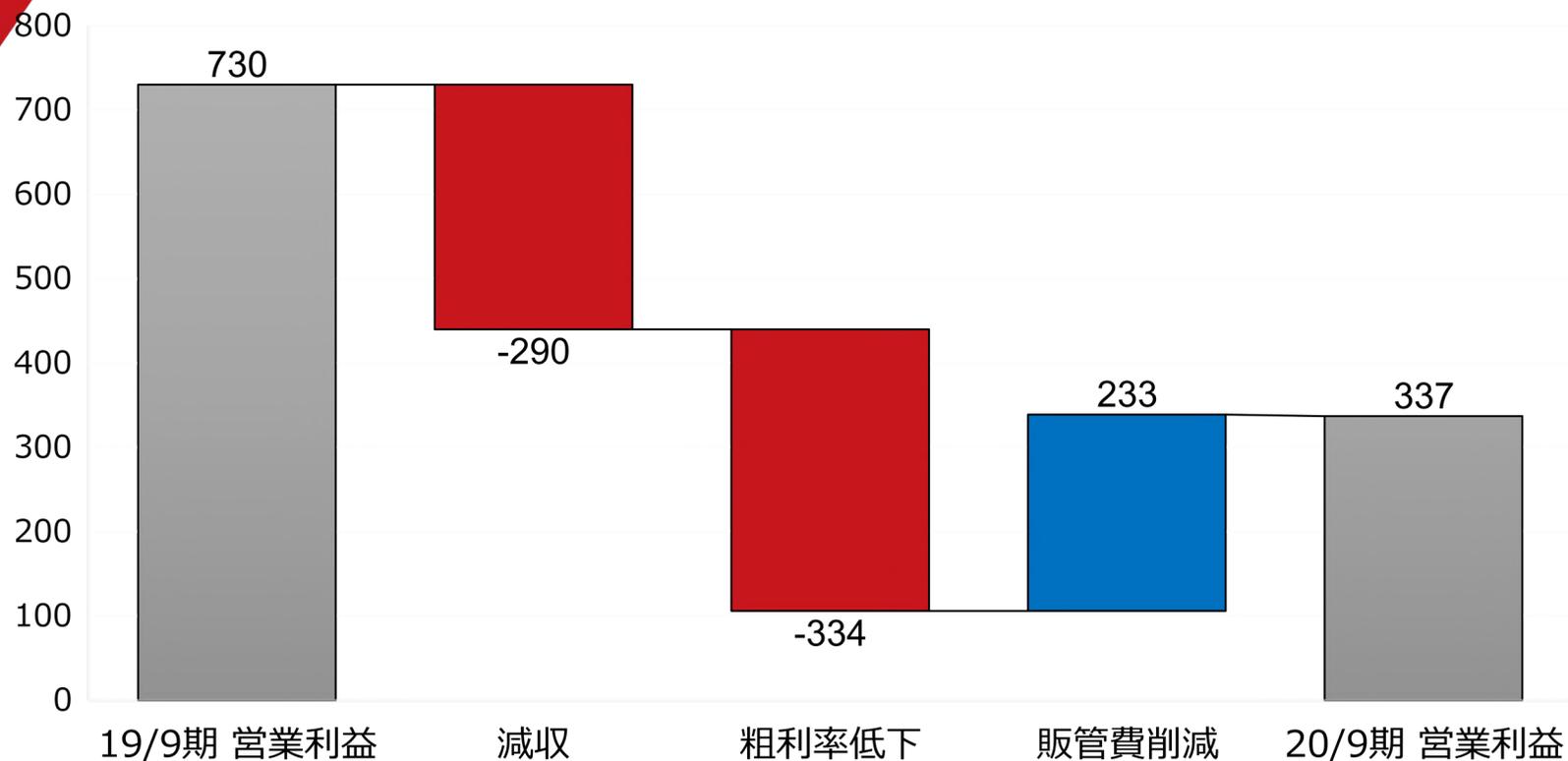


- » COVID-19の影響による、営業活動停止や受託試験の延期及び中止に伴い、下期の受注高が大幅に減少しました。
- » しかしながら、次期に向けて、DSS大型案件を中心に40億円を超える受注残高を有しています。

営業利益増減要因

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計

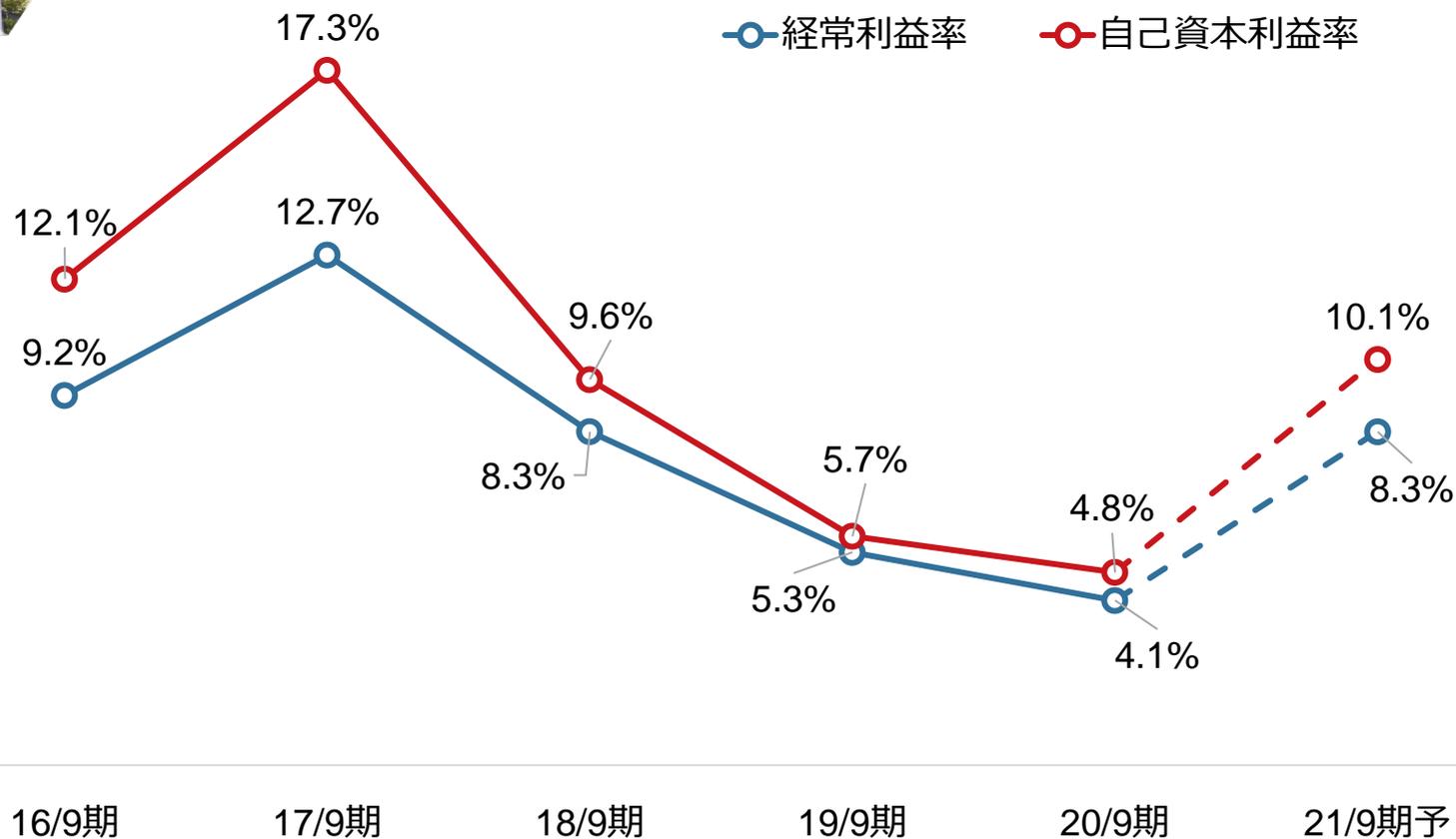
(単位：百万円)



- » 当初計画を上回る業績を達成させるべく社内体制構築や設備投資を実施し、これにより減価償却費等が増加したにも拘わらず、COVID-19の影響により売上高が低迷した結果、営業利益が大幅に減少いたしました。
- » 上記に対して、広告宣伝費等の経費を抑制しました。

※来期予想を含む

経常利益率及び自己資本利益率（ROE）の状況

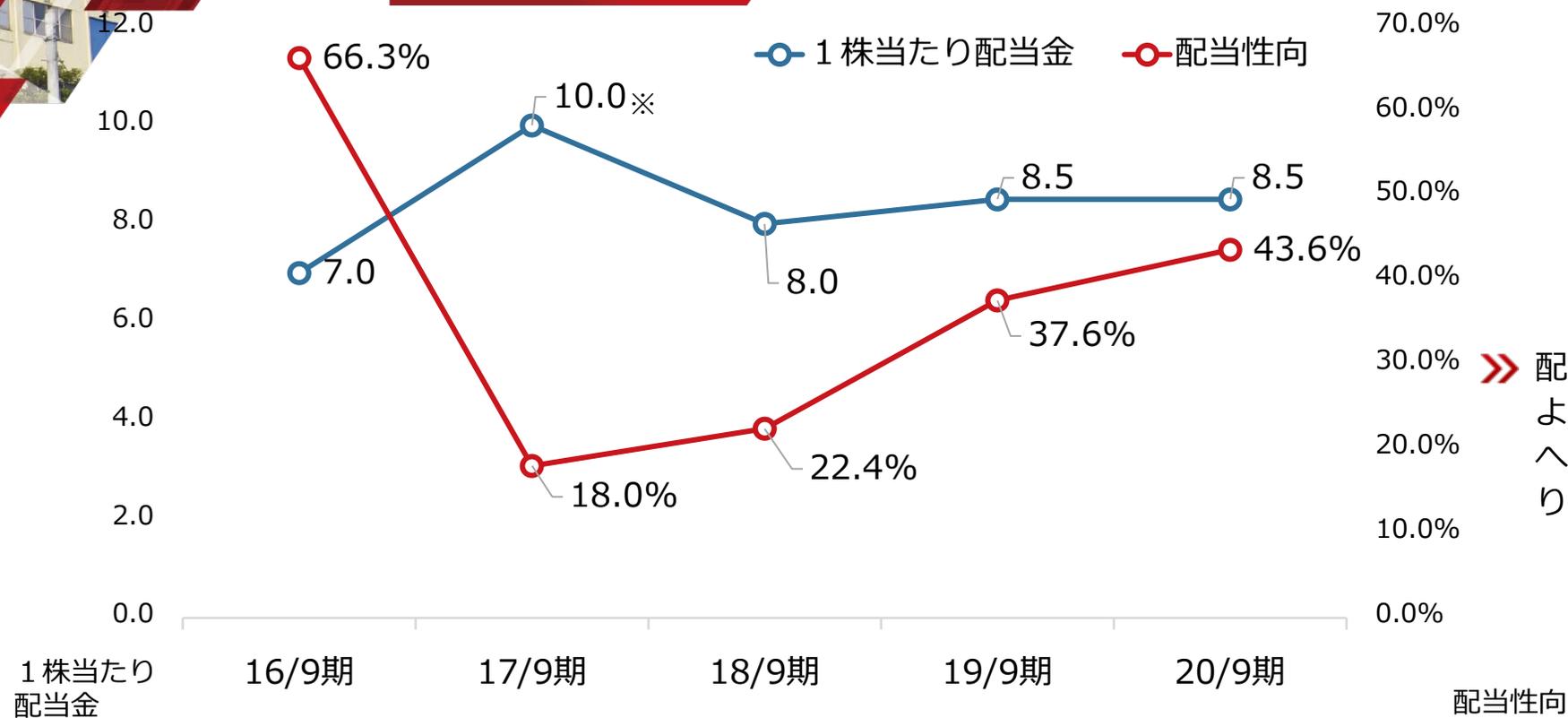


》 18/9期以降、国内施設及び海外子会社向け積極投資に伴う固定費の増加が先行した結果、利益率は低下傾向にありました。

》 20/9期は上記に加え、COVID-19の影響により、利益率はさらに低下しました。

》 21/9期は過年度の投資成果が見込まれる事に加えて、諸経費の抑制も進む事から、利益率の回復が期待されます。

配当金の状況



1株当たり配当金	16/9期	17/9期	18/9期	19/9期	20/9期
配当額	114	162	130	138	138 (百万円)

※17/9期は設立60周年記念配当2.5円を含む。

» 配当性向は各年度の利益状況によって変動いたしますが、株主への安定的な還元を心がけております。

決算概要（連結） 1

（単位：百万円）

	19/9期	20/9期	前年度比	コメント
売上高	12,348	11,338	-1,010	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による国内外の営業活動停止や、受託試験の延期及び中止による影響が下期に生じた結果、売上高は前年度比で減少いたしました。 ●当初計画を上回る業績を達成させるべく社内体制構築や設備投資を実施し、これにより減価償却費等が増加したにも拘わらず売上高が低迷した結果、利益も前年度比で減少いたしました。
営業利益	730	337	-392	
経常利益	652	462	-189	
当期純利益（親会社株主帰属）	366	316	-50	
1株当たり当期純利益	22.6	19.5	-3.1	
売上高経常利益率	5.3%	4.1%	-1.2%	

決算概要（連結） 2

（単位：百万円）

	19/9期	20/9期	前年度比	コメント
営業キャッシュ・フロー	798	473	-325	●仕入債務減少等の影響による営業キャッシュ・フロー減少に伴いフリー・キャッシュ・フローは減少しましたが、期末現金を潤沢に保有しております。
フリー・キャッシュ・フロー	145	-45	-190	
現金及び現金同等物残高	970	2,839	1,868	
自己資本残高	6,501	6,699	198	●財務安定性は前年度から大きな変動はなく、依然として安定水域にあります。
自己資本比率	42.8%	41.3%	-1.5%	
自己資本当期純利益率	5.7%	4.8%	-0.9%	

決算概要（連結） 3

（単位：百万円）

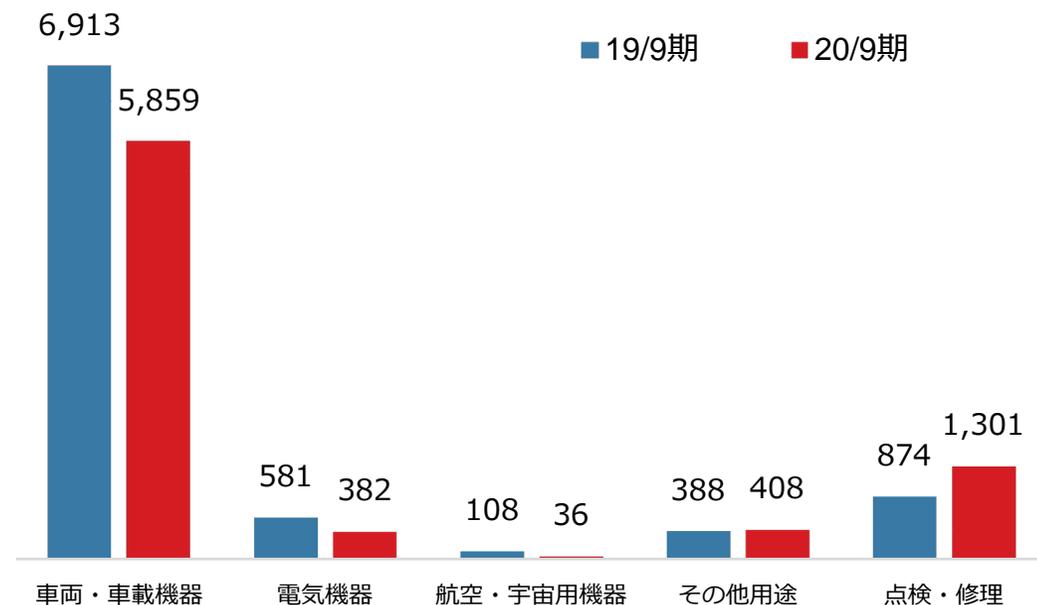
	19/9期	20/9期	前年度比	コメント
設備投資額	804	519	-285	<ul style="list-style-type: none"> ●前年度に受託試験施設（入間・春日井）の開設に伴い減価償却費が増加しました。 ●「今後の取り組み」にて記載の各テーマについて、研究開発活動を継続しております
減価償却費	618	696	78	
研究開発費	447	463	16	
1株当たり配当金（円）	8.5	8.5	0.0	<ul style="list-style-type: none"> ●獲得した利益を安定的に株主に還元すると共に、機関投資家及び株主との対話を通じてIR活動の充実を行います。
期末株価（円）	347	305	-42	
期末時価総額	5,884	5,172	-712	

DSS の概況（顧客業種別分析）

（単位：百万円）

	19/9期	20/9期	前年度比
車両・車載機器	6,913	5,859	-1,055
電気機器	581	382	-200
航空・宇宙用機器	108	36	-73
その他用途	388	408	20
点検・修理	874	1,301	427
合計	8,865	7,985	-880

- 車両・車載機器、電気機器：COVID-19に伴う国内外の営業活動停止により、大幅な減収となりました。
- 航空・宇宙用機器：主な案件は受託試験（TSS）にて売上計上が行われています。
- 点検・修理：既存顧客のWindows7から10への切替対応に加えて、定期メンテナンス契約収入も好調に推移しました。

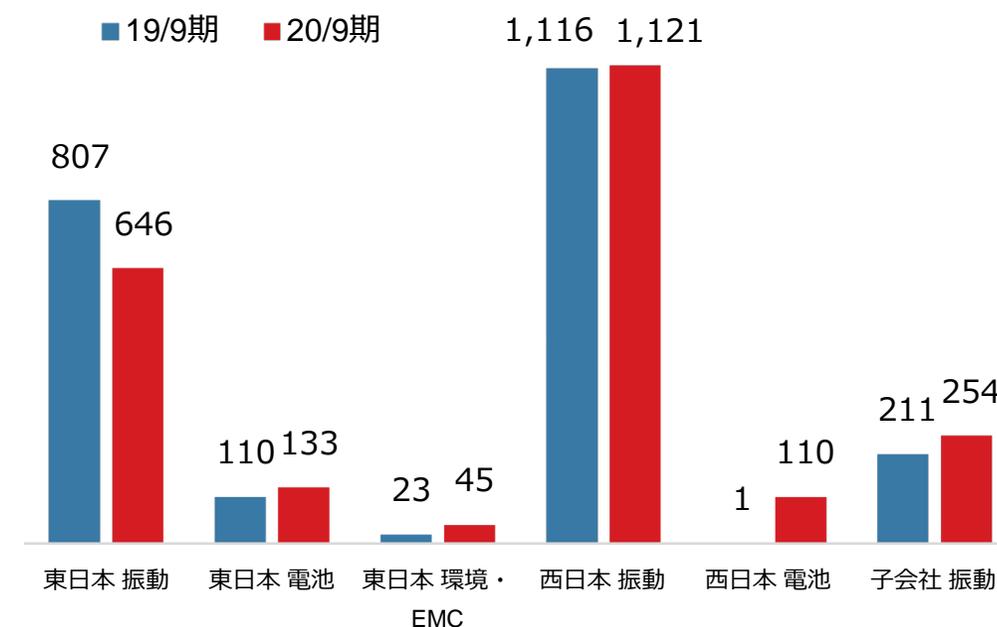


TSS の概況 (エリア別・試験種類別分析)

(単位：百万円)

	19/9期	20/9期	前年度比
東日本 振動	807	646	-160
東日本 電池	110	133	22
東日本 環境・EMC	23	45	22
西日本 振動	1,116	1,121	5
西日本 電池	1	110	110
子会社 振動	211	254	43
合計	2,267	2,308	42

- 東日本振動：19/9期は原子力発電所関連の特需が発生した事に加え、20/9期はCOVID-19の影響により試験延期・中止が発生しました。
- 西日本電池：大阪にて、EV向け大型電池パック試験を本格稼働させました。
- 子会社振動：ASEANラボにて、電機自動車向け試験が伸長しました。

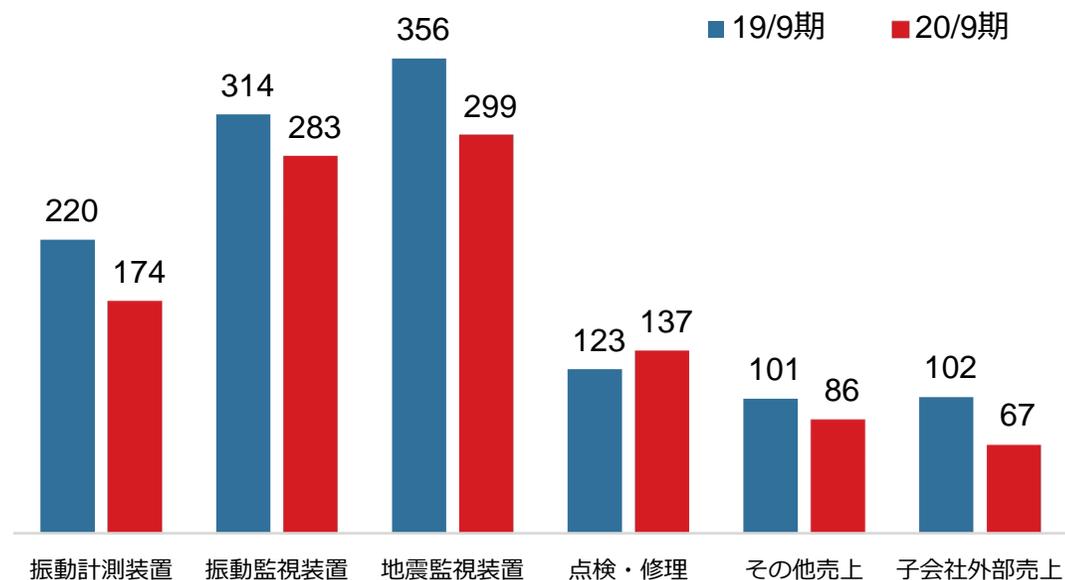


MES の概況（製品種類別分析）

（単位：百万円）

	19/9期	20/9期	前年度比
振動計測装置	220	174	-46
振動監視装置	314	283	-31
地震監視装置	356	299	-58
点検・修理	123	137	14
その他売上	101	86	-15
子会社外部売上	102	67	-36
合計	1,216	1,045	-171

- 振動計測装置・振動監視装置：19/9期に計上されていた発電所関連特需が一時的に減少しました。
- 地震監視装置：COVID-19に伴う海外市場のロックダウンにより、地震計輸出が減少しました。



21/9期 事業計画（連結）

（単位：百万円）

	20/9期実績	21/9期予想	前年度比	コメント
売上高	11,338	12,300	962	<ul style="list-style-type: none"> ● 期末受注残高の増加に加え、現時点における引合状況等を勘案した結果、売上高は19/9期の水準に戻るものと予想します。 ● 引続き、研究開発費を除く諸経費の抑制を進めて、利益率の改善を行います。 ● しかしながら、COVID-19による世界経済の不透明性は増加しており、不測の事態が生じた場合、予想数値を修正させていただく可能性がございます。
営業利益	337	990	653	
経常利益	462	1,000	538	
当期純利益（親会社株主帰属）	316	650	334	
売上高営業利益率	3.0%	8.0%	5.0%	
1株当たり当期純利益	19.5	40.0	20.5	
1株当たり配当金（円）	8.5	8.5	—	
設備投資額	519	280	-239	
減価償却費	696	598	-98	
研究開発費	463	633	170	

本日のアジェンダ

Agenda

1. 会社概要
2. 2020年9月期決算サマリー
- 3. 今後の取り組み**



DSS

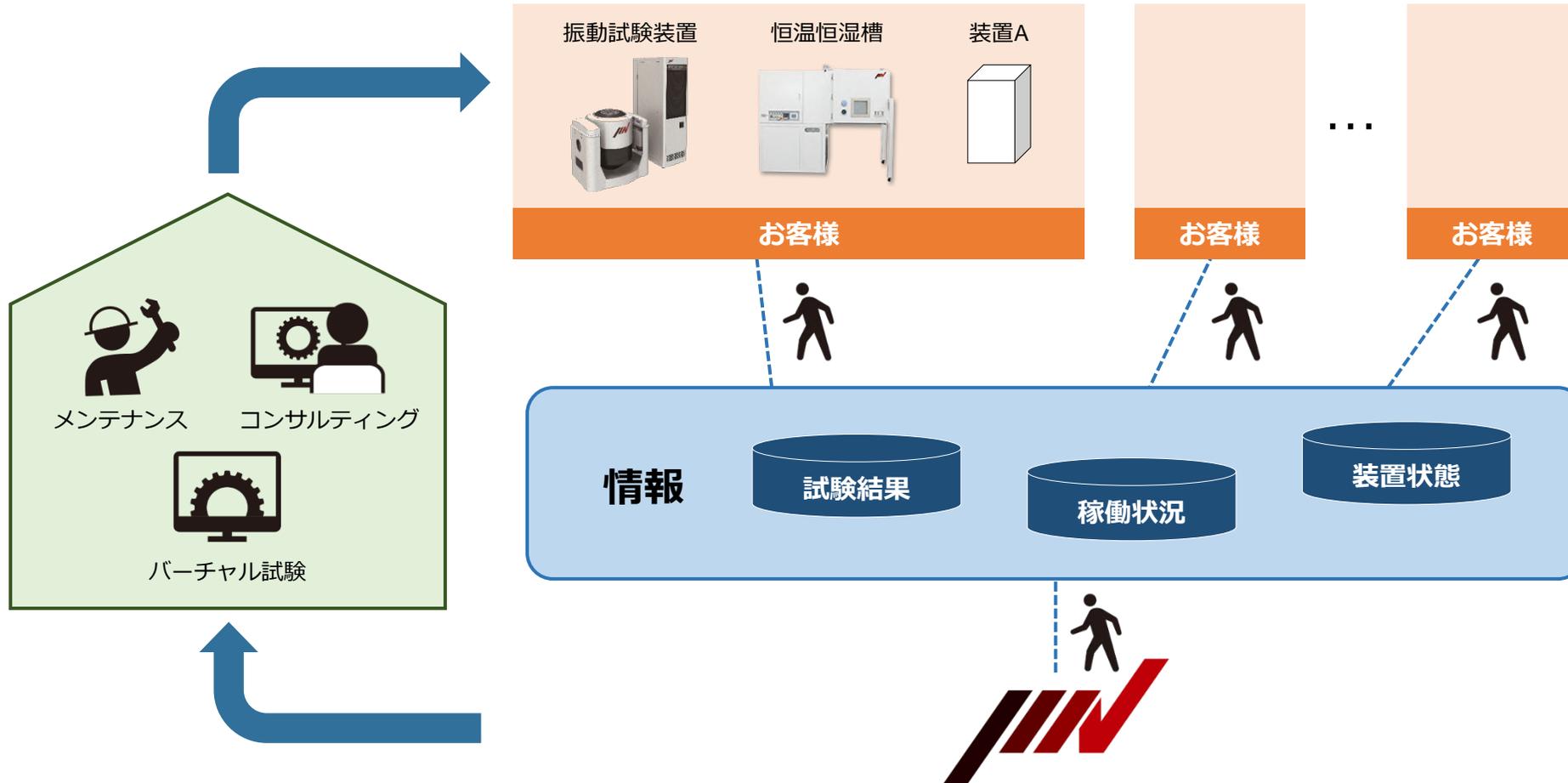
Dynamic Simulation Systems

振動試験装置

DSS 事業の新しい挑戦①

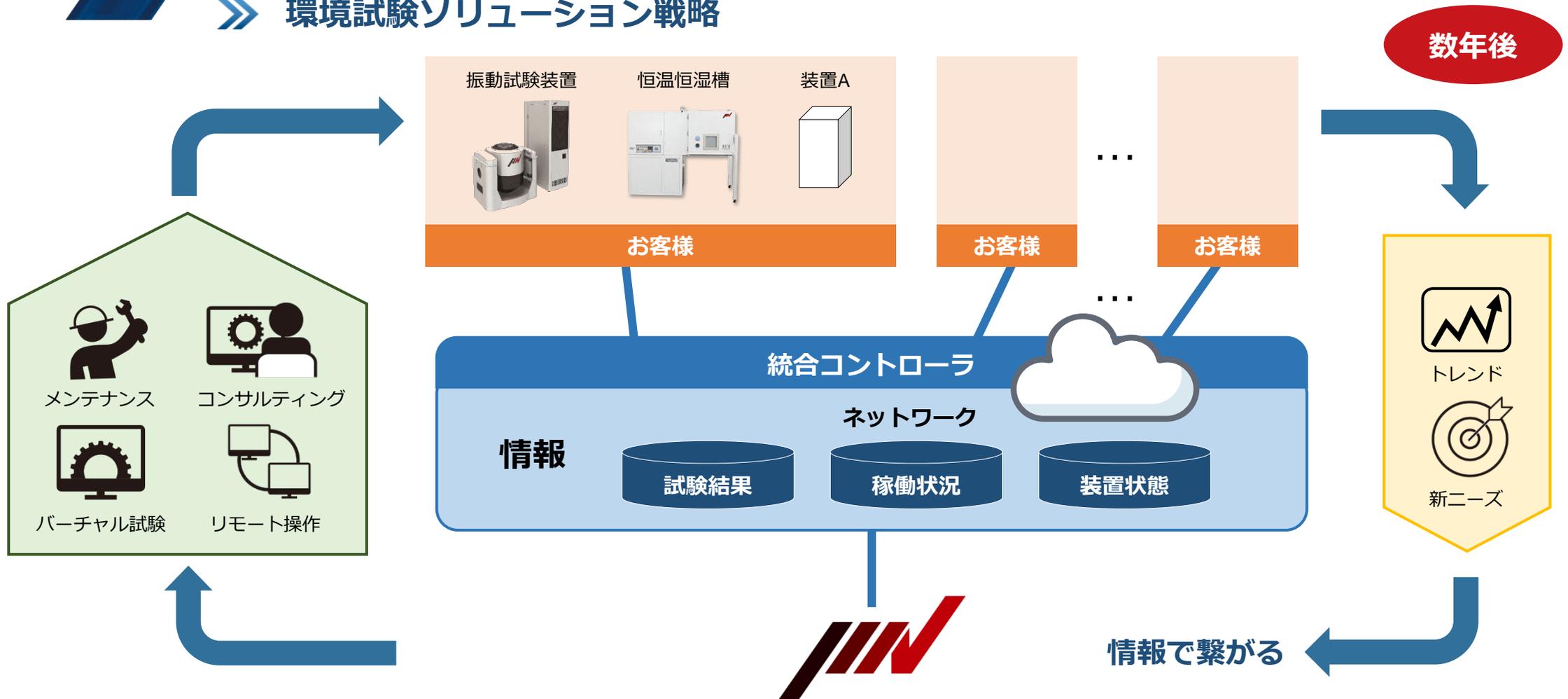
環境試験ソリューション戦略

現在



DSS 事業の新しい挑戦①

環境試験ソリューション戦略



DSS 事業の新しい挑戦②

》 iMV cloudの展開



DSS : エンジニアリングサービスの展開

》 ISO17025校正サービス

振動試験装置業界において、ISO17025の校正サービスを提供できる企業は存在しない為、「新たなサービス」として、他のメーカーとの差別化に期待

自動車及び自動車部品メーカー



IATF16949
認証取得

IATF16949 : 自動車部品及び自動車用材料メーカーを対象に「欠陥の予防」と「バラツキとムダの削減」を達成する為の業界特有の品質マネジメントシステム要求事項であるISO9001:2015に付加したセクター規格

計測器等の厳格な校正を実施
21年4月よりサービス開始

顧客満足度の向上
(顧客の手間・無駄を省略)

当社



ISO17025
認証取得

従来 :

- ・ 振動試験機校正
→IMV
- ・ 振動試験機
ISO17025校正
→外部委託

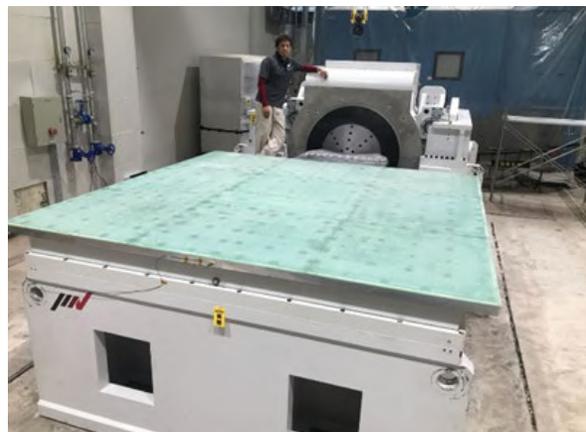
今後 :

- 振動試験機校正
& 振動試験機
ISO17025校正
→IMV

DSS 事業の海外展開①

大型振動試験機の受注

世界中で需要の高まるバッテリー、衛星ビジネスの最前線が、IMVの大型試験機を採用



K350 (35トン機)
国内最大級の試験機

K350

FEV	2020, ドイツ	欧州最大のバッテリー評価設備
PATAC	2020, 中国	米GMと中国 上海汽車との合併会社、新型バッテリーの評価試験
民間ラボ	2021, 韓国	韓国最大の航空宇宙関連研究機関、サテライトの評価試験
衛星関連	2020, 日本	サテライトの評価試験
発電所関連	2021, 日本	原発設備の耐震評価試験

K200

英国	4台 (Airbus 他)
中国	3台 (中国自動車研究所他)
ドイツ	2台 (Akasol 他)

DSS 事業の海外展開②

》 メンテナンスサービスの拡充

英1g Dynamics（連結子会社）のサービスビジネスを米国にも展開し、他社製品へのメンテナンスサポートを提供。
【サービス】を糸口に、競合他社のシェア獲得を図る。

The World's Largest Independent
Vibration Service Organisation
www.1g-dynamics.com

UKAS TESTING
UKAS CALIBRATION
ISO 9001:2015
ISO 17025:2005

1gdynamics

1g America

Shaker Service
and Maintenance

We Can Make It Shake

Vibration shaker repair for all models
Preventative maintenance
Coil-winding
Spare parts
Replacement amplifiers

Providing service in the U.S., Canada, and Mexico

Contact Info
1g-america.com
Phone: (616) 422-5101
Email: sales@1g-america.com
PO BOX 1054, Holland MI 49422

A modern, multi-story office building with a white facade and large windows. The building is partially obscured by a large, diagonal orange graphic element on the right side of the image. The sky is blue with light clouds. The building is situated on a hillside with green vegetation.

 **IMV CORPORATION**

TSS

Test & Solution Service

テスト&ソリューションサービス

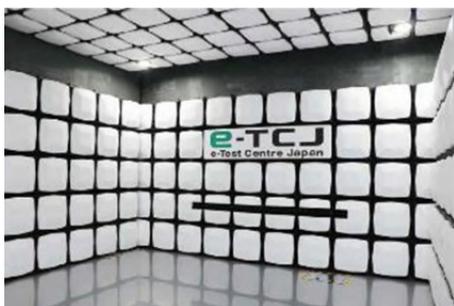
TSS : 高まる EV/HEV 試験需要への対応



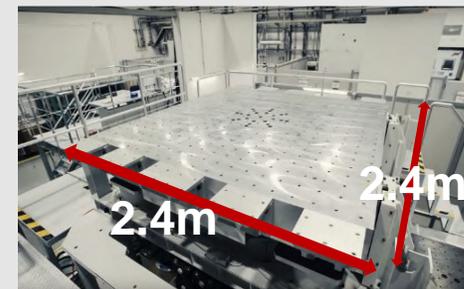
EV/HEVの普及に伴い、主要部品であるバッテリー、モーター、インバーター、強電ハーネスの試験需要が増加



e-TCJではモーター、インバーターの環境試験、及びEMC試験で総合的なEV関連の評価が可能。ワンストップの利便性で受注伸ばす



バッテリー試験設備を整えた上野原ラボでは大手自動車メーカーからの車載用バッテリーの試験機会が増加



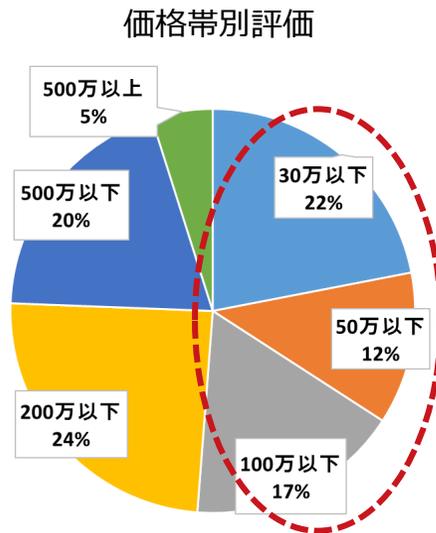
TSS：さらなる「差別化」に向けた取り組み

顧客満足度の追求

品質・技術・スピードで高い顧客満足度

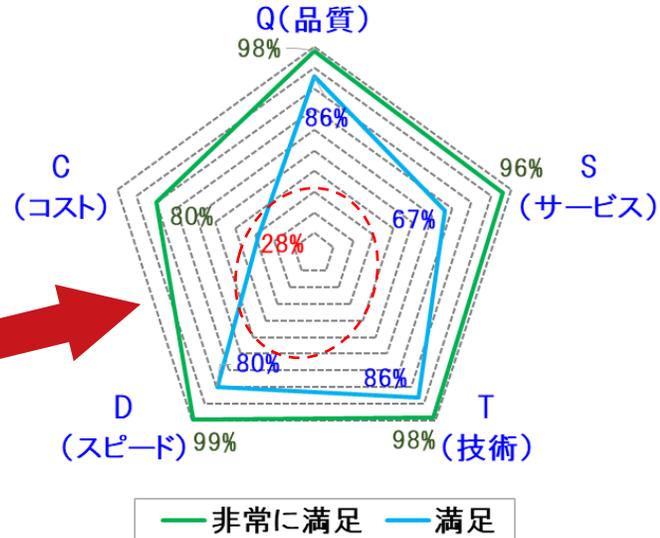
☆課題は「価格」

標準試験ゾーンの価格にご満足頂けていない



アンケートによる顧客満足度調査より

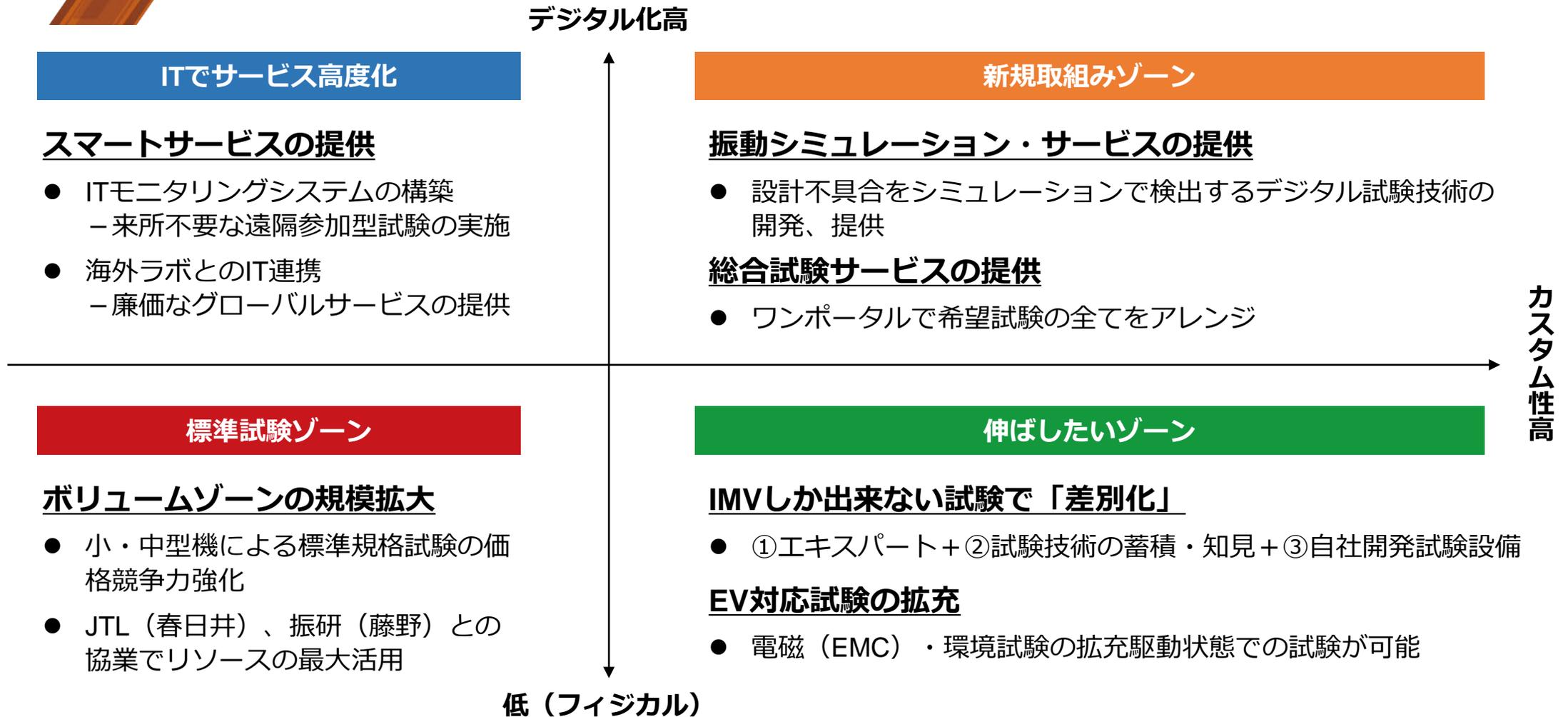
<試験の品質、技術力、コストに関するアンケート結果>



高いリピート率を維持

今回が初めて	：	35%
過去に利用	：	35%
繰返し利用	：	30%

TSS : 受託試験の中期展望

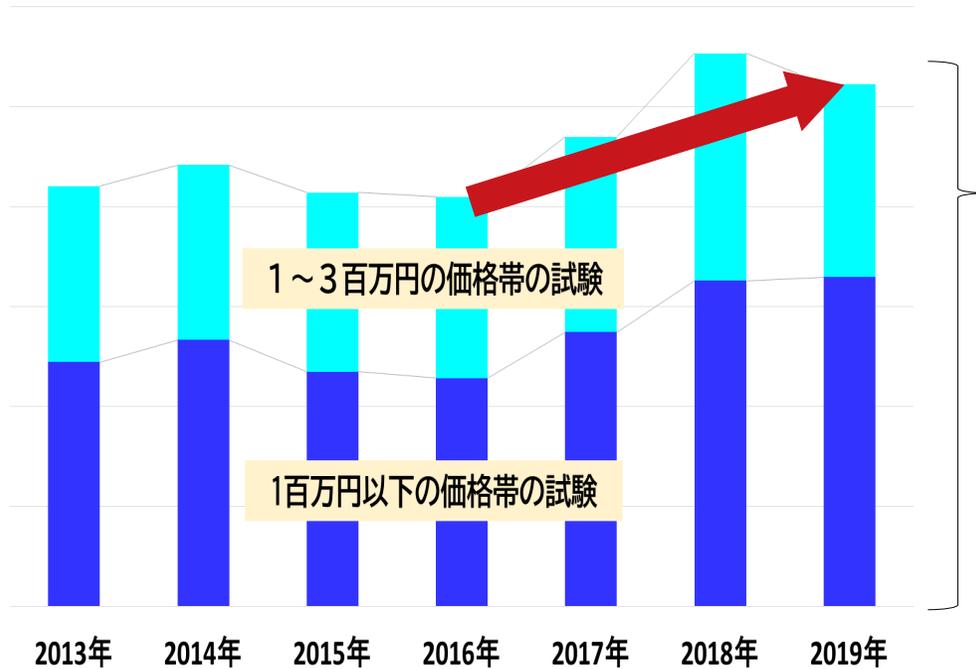


TSS : 「標準試験」ゾーンの拡充

》》 「標準試験ゾーン」：需要の確実な受注獲得

小型・中型機の稼働向上と、春日井（JTL協業）、藤野（振研協業）のリソースを最大限活用

標準試験ゾーンの売上推移



約11億円

標準試験需要は堅調

20/9期vs17/9期 = 108%/年



確実な受注獲得で事業基盤を固める

価格を含む
顧客の新しいニーズに
応えるべくリードする

TSS : 「伸ばしたいゾーン」

≫ 品質・技術の「強み」で伸ばす

難易度の高い試験品への対応 | 航空宇宙など高度製品作りに貢献

IMVしか出来ない試験で「差別化」

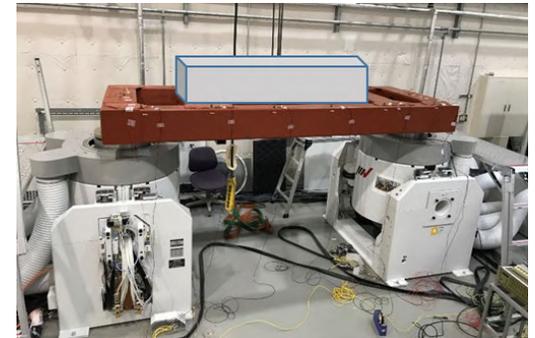
- エキスパートの配備 : EV・電池試験・航空宇宙
- 技術知見の蓄積 : 2万例の実績、ノウハウ蓄積
- 試験設備 : 一貫生産でニーズにきめ細かな対応

EV対応試験の拡充

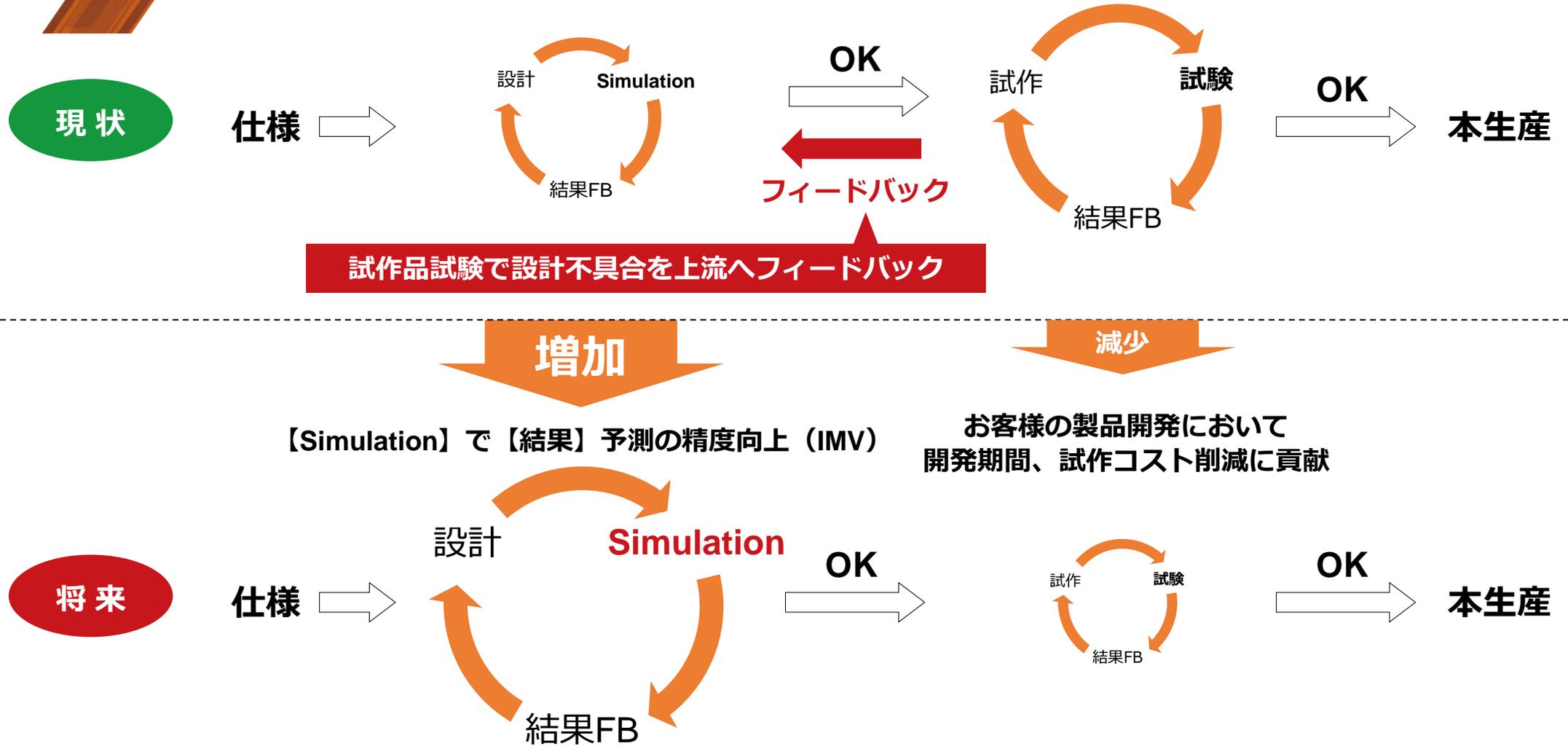
- 電磁 (EMC) ・環境試験の拡充 : 駆動状態での試験が可能



業界最大級の加振機
&
複数加振機の連動試験



TSS : 「新規事業の探索」 振動シミュレーション



海外ラボ：Asean テストサービスの強化

》》 ISO17025 : 2017 の認証取得

- ベトナム法人にて、2020年3月に試験所認定をBOAより取得
- 認証取得に伴い認証が委託の条件であった顧客と複数年の大型契約を締結



認証番号：VILAS 1284

認定機関：Bureau Of Accreditation Vietnam (BOA)

取得日：2020年3月2日

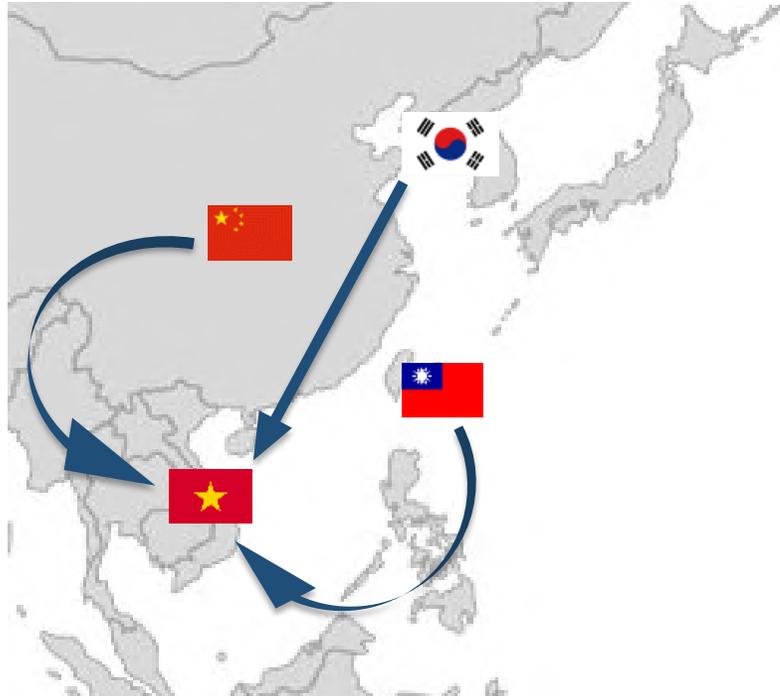
(認証範囲)

振動試験（サイン波）、振動試験（広帯域ランダム波）、衝撃試験、
高温試験、低温試験、温度変化試験、温湿度サイクル試験、高温高湿（定常）試験

海外ラボ：Asean テストサービスの強化

》》 中国・台湾・韓国系企業のベトナムシフト

- 5Gの通信機器関連の生産がベトナムシフトで試験需要増加
- ベトナム国産の5G通信機器開発の開始も追い風
- Smart home関連のWifi通信機器のベトナムシフトでも試験需要増加



- ・ 以前から進んでいた中国からベトナムへの生産シフトが、米中の経済摩擦の影響で加速
- ・ 特に5G通信の早期導入計画が進められており、ベトナムのViettel社とVingroupによる共同開発の合意に伴い、5G関連分野の試験需要が増加
- ・ 自動車関連以外の試験にも積極的に対応

海外ラボ：IMV ASEAN test laboratory (Thailand・Vietnam)

- タイ、ベトナムの試験所では日本、欧州の自動車メーカーから主要部品であるモーター、インバーターの評価一式を受注
- 振動、衝撃、温湿度、塩水、ダスト、耐水試験を全てOne Stopで提供可能な体制を構築
- 大手自動車メーカーの開発プロセスの一旦を担う





MES

Measuring Systems

メジャリングシステム

MES：継続案件 ① IoTによる機械予知保全

➤ CBM用ラムダバイプロ

日本経済新聞より



「ラムダバイプロ分析システム」による故障の早期発見イメージ

2019年：原子力用途、印刷機、製菓機向けに国内で実績

2020年：日本国内においてCOVID-19が沈静化しつつあった

9月より海外市場向けの活動を開始 → 韓国三星グループ向けに初回受注

2021年：ポストコロナに国内外で攻勢開始予定

CBMとは
Condition Based Monitoring の略



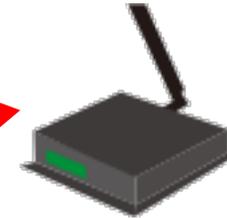
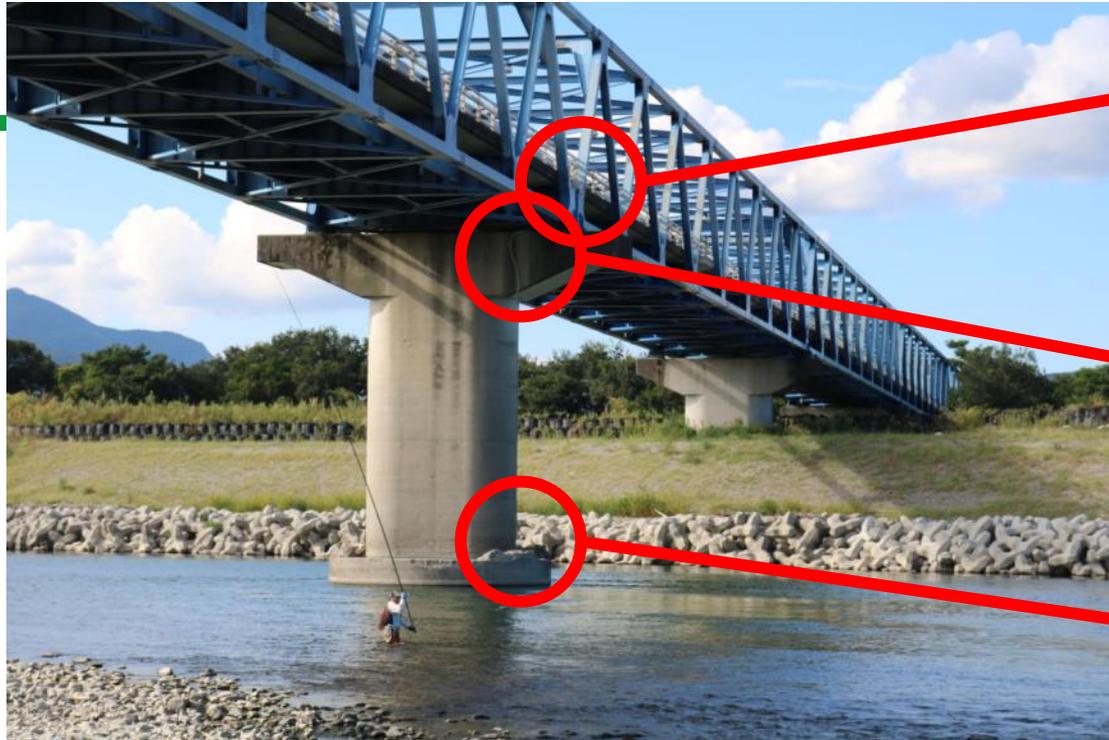
振動CBMユニット【ラムダバイプロ VM-8018】

MES : 継続案件 ②構築物の健全性を振動で診断

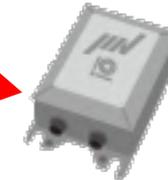
国土交通省「SIPプログラム」

2020年に実験終了後、同じくSIPに参画した大手制御器メーカーと協業が決定

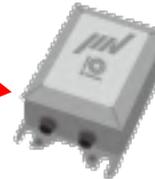
大阪市立大学
京都大学
IMVで実証実験
独自診断方法を確立



ゲートウェイGW-0013が
センサデータをクラウドへ



HM-0013 ×2個



橋脚上下に取り付け、洗堀による振動レベルを常時モニタリングする機器は**現在も稼働中**
当該実績により、大手制御器メーカーとの協業が実現

MES：継続案件 ②構築物の健全性を振動で診断

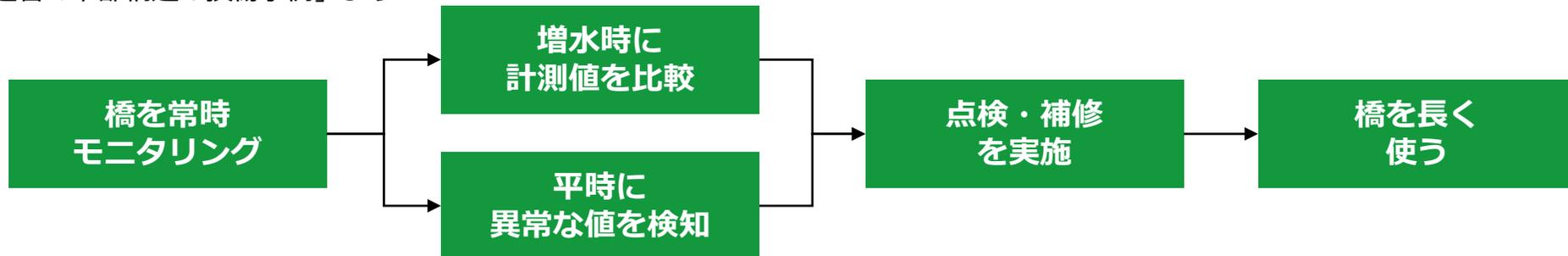
➤ 政府の【国土強靱化計画】は2021年以降も継続へ

実際のビジネス機会は各省庁に分散 → 経産省、文科省、国土交通省に引続きアプローチ



橋脚の洗掘・沈下

国土交通省「下部構造の損傷事例」より



MES : 継続案件

③地震計・構造ヘルスマニターの継続採用

≫ フィリピンでの採用状況

- フィリピンにてHM-0013及びTM-0013-HMが採用され、HM-0013約400台、TM-0013-HM約100台を販売
- フィリピン法令により地震計・構造ヘルスマニター設置が義務付けられた15階以上の建物は全土で約28,000棟存在（当社代理店見積） → **COVID-19沈静化後に再開予定**



MES : 継続案件

④日本防災プラットフォーム (JBP) との協業

地震計ISO基準化プロジェクトに発展 (2024年完結予定)

ISO規格の「TC268/SC1/WG6 DISASTER RISK REDUCTION (減災)」内のプロジェクトとして活動中
→ 2024年に結論予定

ISO/TC268/SC1国際会議に会員2社が参加、プレゼンテーションを行いました。

2019年10月24日 [ニュース](#)



地震計メーカー3社 (IMV、チャレンジ、明星電気) とJBP事務局は、経済産業省調査事業に採択され、国際標準化に向けて活動しています。ISO/TC268/SC1 (スマート都市インフラ) の国際会議が10月14~18日に中国武漢市で開催され、IMV、チャレンジの2社が参加し、IMVの小林敏之氏が自然災害リスク低減を目的とした地震計データの利用についてプレゼンテーションを行いました。今後、TC268/SC1に防災に関するWGが新設される計画があり、JBP会員は地震計データの利用について国際標準化に向けた活動を加速させる予定です。

日本防災プラットフォームより転記 <https://www.bosai-jp.org/ja/news/detail/215>

政府当局の狙い

ユーザーが必要以上のコストで地震計を購入する為、数量規模が増えない

日本企業は過剰仕様→入札不利となる例多数

地震計の
ISO国際規格
を作り、
世界普及を
狙う

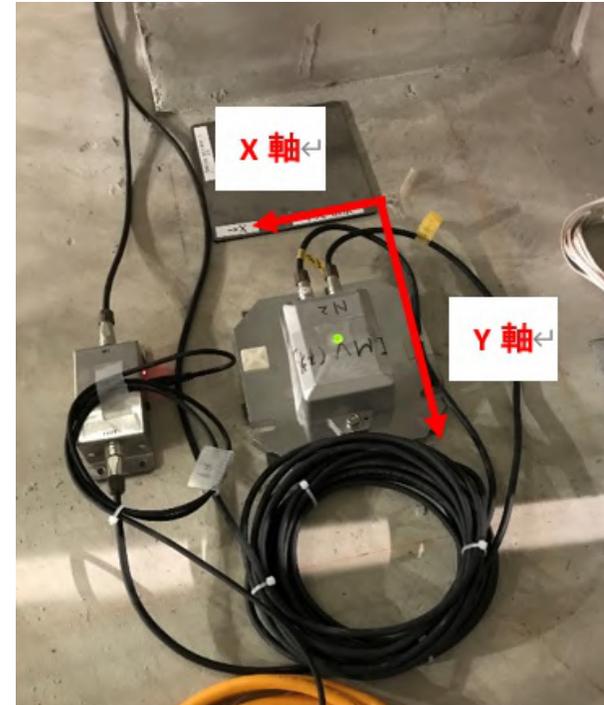
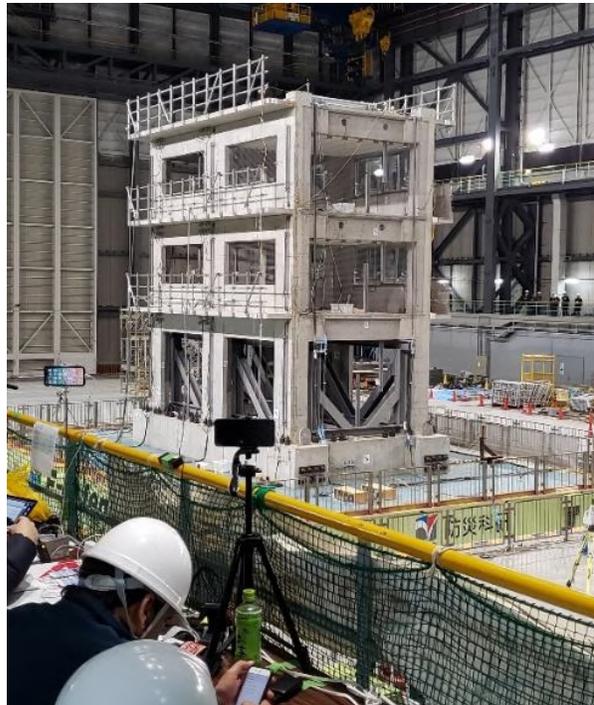
IMVや他の国内メーカーが世界各地で販売しやすい環境を創出

MES：新規案件 ①国土強靱化計画

≫ 東京大学主導のEディフェンスに参画

2020年：防災科研が進める「首都圏を中心としたレジリエンス総合力向上プロジェクト」で建物のヘルスマニタリングの実証実験（東大主導）に参加

2021年：東京大学の研究は終了予定。防災科研に主軸が移行→IMVは防災科研と協業



MES：新規案件 ②国土強靱化計画 文科省への展開

》 木造伝統建築の健全性を振動で診断

2020年：防災科研が進める「首都圏を中心としたレジリエンス総合力向上プロジェクト」で建物のヘルスマニタリングの実証実験（東大主導）に参加

<阿弥陀寺みねの寺（奈良）～伝統建築モニタリング～>



奈良女子大学と共同で、阿弥陀寺にHM-5013-SとGW-5013-Sを設置
→ これまでは地震計で難しかった伝統建築モニタリングに展開

「無線かつ後付可能」という特性を活かし、他社が参入していない神社仏閣の需要を掘り起こす
→ コンビニエンスストア55,000店舗を超過する、**神社総数81,000社、仏閣総数77,256社を対象に**

MES：新規案件 ③(株)マクニカとの協業

➤ COVID-19影響下でもウェビナーを通じて、FAおよび機器組み込みで向け拡販

- MESが進めている機械設備診断を、部品業界No.1 株式会社マクニカと共同拡販 → ウェビナーにて継続PR
- 同社のロガー【センスパイダー】と抱き合わせ、FA業界へ拡販
- これまで試験的に3回開催し、毎回WEB会議システムの受講上限に近い100人以上の聴講者を集客



【共同ウェビナーの画面例】



【(株)マクニカのセンスパイダー】



ありがとうございました

代表取締役社長 小嶋 淳平

■お問い合わせ先

IR窓口：経営企画部長 竹本清志

TEL：06-6478-2565 / 06-6478-2562（個人株主さま） FAX：06-6478-2567

E-MAIL：imvir@imv.co.jp WEB：http://www.imv.co.jp

○免責事項

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保障するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

IMVグループのSDGsの取り組み

Our SDGs initiatives

IMVグループは、国連が提唱する「持続可能な開発目標」に賛同し、スローガン“SECURE THE FUTURE”の基、製品の安全性・信頼性の担保を通じ、持続可能な社会実現に向けてSDGsの達成に貢献いたします。

社会の安全への貢献



工業製品の安全性・信頼性評価に貢献

パートナーシップ



様々な業界の企業やステークホルダーと交流し協力しながら活動

地球環境の保全



電力消費量及びCO2排出量を抑える独自の省エネ技術を採用した装置を開発

働きがいのある環境づくり



長時間労働や職場環境の改善等の働き方改革の取り組み

SECURE THE FUTURE



IMVが見守る未来

Future

安全を見つめて未来の社会に貢献します。

Integrity

誠実で開かれたパートナーシップを大切にします。

Reliability

製品とサービス、すべてに信頼を作り込みます。

Strength

振動技術の世界リーダーとして経営基盤を強化します。

Technology

顧客ニーズに俊敏に応える技術を開発します。



FIRST choice
for our Partners